



— 町のスローガン —

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 町づくりに生の意見…………… 2
- 工事スタート秋田信英…………… 3
- 健康づくりの現状と対策…………… 4
- まちの財政（下半期財政報告）…………… 6



広報

5月5日は「こどもの日」。そして第2日曜日の13日は「母の日」です。母親と子供——家庭の中でいちばん接する時間の多い間柄です。母親は子供に対し、どのような接し方をし、子供はどんな母親を望んでいるのでしょうか。子供の幸せは明るい家庭から——「こどもの日」、「母の日」にちなんで、こうしたことを親子で話し合ってみてはいかがでしょうか。（写真は永慶保育園の「花まつり」）

5月

いがしゆり

No.350

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）

・大台納税貯蓄組合
・土場沢納税貯蓄組合



石綿徳市郎さん

納税優良表彰



伊東政太郎さん



八嶋耕二郎さん

自治会長功労表彰



町づくりに生の意見 自治会長会議

生の意見を聞いて町政に反映し
よりよい町づくりを——と、毎年
年度始めに開いている自治会長会
議が4月26日有鄰館で開かれまし
た。

■役場からのお知らせと協力依頼事項■

〈企画財政課〉

▶土地利用法によって一定面積（東由利町の場合約1ha以上）の売買契約（予約含）をする場合は、買う者があらかじめ市町村長を通して知事に届出をしなければなりません。（届出用紙は役場にあります）

〈税務課〉

▶町・県民税と固定資産税については、前納報償金の制度があります。（前納税額× $\frac{1}{100}$ ×前納月数）
▶国民健康保険税の課税限度額が、28万円から35万円になります。税額は、7.8%増額されました。

〈住民課〉

▶国民年金保険料が、この4月から月額6,220円に改定されます。（付加金は従前どおり400円）
▶燃えるゴミ、燃えないゴミをはっきり区分し、収集日の朝に集積所に出してください。また集積場所の清潔確保をお願いします。

〈産業経済課〉

▶水田利用再編第三期対策は今年から61年度までです。今年度の転作目標面積は、172ha（前年179ha）うち16.4ha（86.94t）は、他用途利用米です。
▶転作配分面積は155.6ha ▶他用途利用米配分は、1,449俵 ▶青刈稲は一般作物扱いとなりました。
▶ホールクroppサイレーシヨ用稲が認可されました。
▶転作現地確認は、6・7・8・9・10月に行います。
▶限度数量は6月に配分する予定です。（うるち・75,958俵、もち・811俵、前年より計630俵増）

〈建設課〉

▶道路側溝を埋立てたり、小橋を架けたり、あるいは工作物や建物を立てたりする場合は、道路管理者（知事または町長）の許可が必要です。旧道路敷についても同様です。）
▶家屋を新増築する場合は、県知事から建築確認の許可を受けてから工事に着手してください。
▶本町は冬期間の除雪があるため、家屋を新築する場合は、道路から2メートル以上離して建築するようご協力をお願いします。
▶道路沿いの田畑、側溝などは、地域の方々が協力して砂利あげを行ってくださるようお願いします。

会議は午後1時過ぎ始まり、これに先立ち、自治会長功労表彰が、八嶋耕二郎さんと伊東政太郎さんに、納税優良表彰が、石綿徳市郎さんと、大台納税貯蓄組合、土場沢納税貯蓄組合に、それぞれ贈られたあと町長があいさつにたち、今年度の施政について具体的に方針をのべました。〈町長の施政方針については、4月号広報に掲載してありますが、先に配布しました「ことしの町づくり」に詳しく掲載してありますのでご覧ください。〉
また、来賓を代表して、小松町

議会議長が、「単に役場からの配布物を配るだけの自治会長でなく地域住民のもつ要望や意見をまとめて、町に反映させる役割をもってもらいたい」とあいさつ、会議に入りました。
会議は、町側から、お知らせと協力依頼事項について説明のあと各自治会長から事前にハガキで寄せられていた要望事項について、担当課長がそれぞれ回答を行いました。
要望事項はあわせて57件で、おおまかな内容は次のとおりです。
▼道路改良・整備等に関するもの35件 ▼防火水槽や街路灯、信号機等の設置8件 ▼衛生関係5件 ▼会館の建設3件 ▼その他6件
このあと行われた意見交換では、▽他市町村からの入山者に対し、山火事の防止について徹底してほ

悪い訪問販売や、店舗外販売など、一般消費者への強引な勧誘は、ますます激化し、その方面の苦情が急増しています。商品を販売するセールスマンの過大な表現、虚偽の説明にまどわされず、契約をする場合は、誰かに相談するなどして充分注意をはらってください。

しい。▽畜産公害について保健所との対応を図ってもらいたい。▽ガレキ・灰等のゴミ処理の方法等について質問や意見が寄せられ、それぞれ、早急かつ積極的に対処していく回答を示しました。

出稼ぎご苦労様でした

出稼就労者打ち合わせ会と
就労安全対策協議会総会

長い都会での出稼就労生活を終え、ほとんどの方々が帰省していた4月23日、町では有鄰館を会場に出稼就労者打ち合わせ会を開催しました。

会場には、グループリーダー等約100人が出席、久々に会う方々を懐しみながら、今期出稼就労の反省や、就労状況について情報交換を行いました。

また、グループの全員が、就労前の健康診断を受け、しかも就労期間中に無事故、無病であった、双葉電子(千葉県茂原市)の就労者(リーダー・木島忠一)に対して町長から賞状と金一封の授与が行われました。

打ち合わせ会終了後には、町出稼就労安全対策協議会(会長・畑山清一)の総会も行われ、今期出稼で傷病や死亡した方に対する見舞金の給付等を、県出稼互助会に準じて支給することを決めました。



工事スタート/秋田信英



工事スタート/秋田信英

7月末の完成目ざし

エンジン全開

企業誘致

“今月上旬には第2次の従業員募集”

工事の安全を祈る
畠山町長(上)

ピッチを上げる工事(左)

県の誘致企業として、上の代工業団地に進出した秋田信英株式会社(資本金1億円)では、4月12日に、関係者が多数出席し起工式を行いました。

式では、同社の登内社長と工事を担当する竹腰工業所社長が力強く鉄入れを行い、工事の安全を祈願しました。

現地には翌日から大型重機が入り、除排雪の促進をはかるかたわら、基礎工事が開始され、目下豪雪の影響による着工の遅れを挽回すべく、建設現場一帯には連日力強い大型重機のエンジン音が響きわたっています。

会社側では、当初の予定よりは多少遅れるものの、7月下旬から8月上旬には操業を開始したいとして工事のピッチを上げています。社員の第2次募集も、今月上旬には行われる見込みで、年度末までは計画どおり120人程度が採用される見込みです。

優良改良団に松沢!

—たばこ振興会総会—

昭和58年度の町たばこ耕作振興会総会が、4月25日、有鄰館で行われました。

席上、前年度優良改良団である新田たばこ改良団から町長に優勝旗が返還、新たに品質、収量ともに群を抜いた松沢たばこ改良団に優勝旗が渡されました。

このほか、同振興会々長(遠藤藤一)から次の改良団や個人に表彰状と、記念品が送られました。

優良改良団 松沢たばこ改良団(平均反収558.117円)
●時雨山たばこ改良団(平均反収490.231円)

品質優良者 古関梅雄(松沢反当609.443円)

品評会入賞者 一等賞▼高橋貞(館合新田) ●小松安男(田代) 二等賞▼小松幸男(石高)

●小松良蔵(畑村) ●阿部初三(杉森) 三等賞▼小松和之(畑村) ●遠藤吉蔵(新処) ●

工藤調記(新処) ●鈴木和夫(沼) ●長谷山長盛(田代) ●畑

山文一郎(館合新田) ●大場吉二郎(山崎) (敬称略)



特 集

健康づくりの 現状と対策

健康は最大の宝なり……町では、町民が健康でしあわせな生活を送れるよう積極的な保健対策をすすめておりますが、その方法について検討するためにいろいろな調査も行っています。

ここでは、その調査の中から、わが町における病気の実態についてお知らせし、健康に対する関心を高め、健康で明るい生活をきずいていただくためにレポートをしてみました。

病 気 の 現 状

- 1、本町の疾病構造は、脳卒中、心疾患、ガンが圧倒的に多く、管内（本荘保健所）・県と同じ状態にある。また、発症状況を見ると脳卒中・心臓病は横ばい状態であるが、ガンは増加している。
 - 2、死亡数は脳卒中が圧倒的に多く、ガン、心疾患の順となっている。死亡率は脳卒中が管内、県に比較し、5ヶ年間平均で約30%高くなっている。ガン、心疾患は同水準であるが、成人病全体では管内に比較し、5ヶ年間平均で5%ほど高くなっている。
- これを標準的な人口構成に比較した場合（訂正死亡率）でも、県平均より男が50%、女が110%ほど高くなっている。反面、働きざかりの死亡率は県平均より低くなっている。

保健対策推進協議会を設立！

健康づくりのために行う各種保健事業計画に、町民の声が反映され、町民の理解と協力によって事業が円滑にかつ、効果的に行われることをねらいとして、このたび町保健対策推進協議会を設立しました。

同協議会は、町内の医師や各種団体の代表のほか、由利組合総合病院長、本荘保健所長ら16人で構成、4月21日、有隣館で第1回目の会議を行いました。

話し合いは、今年度の保健事業のもち方や、今後の保健計画についてのほか、最近の病気の特徴や、食生活がもたらす健康への心配について、出席者から意見が交され、いずれも

検診で健康をチェック

話し合いは、今年度の保健事業のもち方や、今後の保健計画についてのほか、最近の病気の特徴や、食生活がもたらす健康への心配について、出席者から意見が交され、いずれも

町民ひとりひとりの日常の気くばりが大切なことであり、検診は自分の健康をチェックする唯一の手段であるとなりました。

また、虫歯の子どもが増加しているという現状から、歯科医の不足がクローズアップされ、既存の診療所の利用について意見が出されましたが、現状ではむずかしく、今後の課題とされました。

受診者の増加年次的に

保健事業の今後の対策としては、最大の課題である受診者の増加を図るため、年次的にプログラムを作成、計画的な方策を講じ取り組んでいくこととしました。



町内の医師全員出席、検討を行った



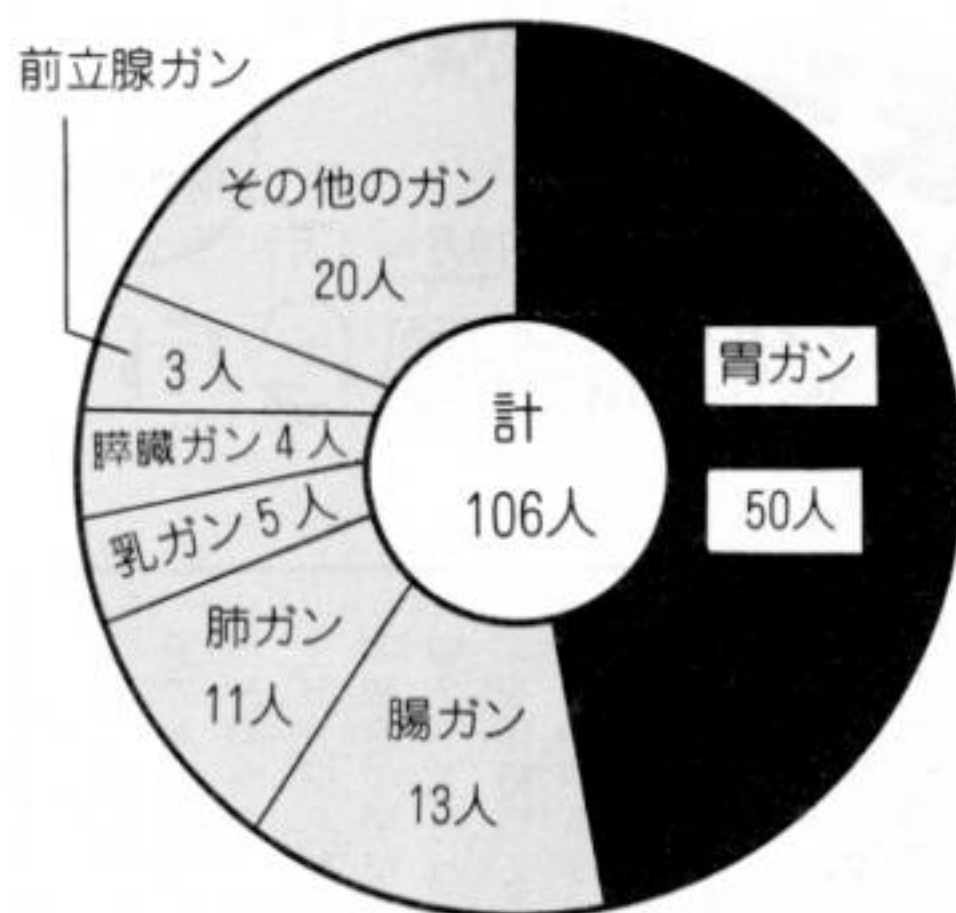
町の死因統計

特

徴

- 脳卒中……過去5年間の平均死亡数が最も多く、病名別では脳出血が減少し脳硬塞が増加している。
- ガ ン……男の発生率が多く特に働きざかりの発症が目立っている。種別では胃ガンが大半を占めているが腸ガン、肺ガンも増加傾向にある。
- 心疾患……死亡率は昭和57年度比較で国県に比べ低率であり、本町過去5年間では昭和55年をピークに減少している。

ガンの種別内訳 (53~57年)



「自分の健康は自分でつくる」心がけが大切です。

特に働きざかりの病気発症を予防するため、町では循環器、胃ガン検診など各種の検診を実施しています。本年度新規に、大正14年生れ、昭和18年生れを対象とした「やく年1日人間ドック」も開設します。健康を保つための工夫を自らが言い、各種検診を積極的に受診することをおすすめします。

また、先にお配りしました「健康カレンダー」のご活用をお願いします。

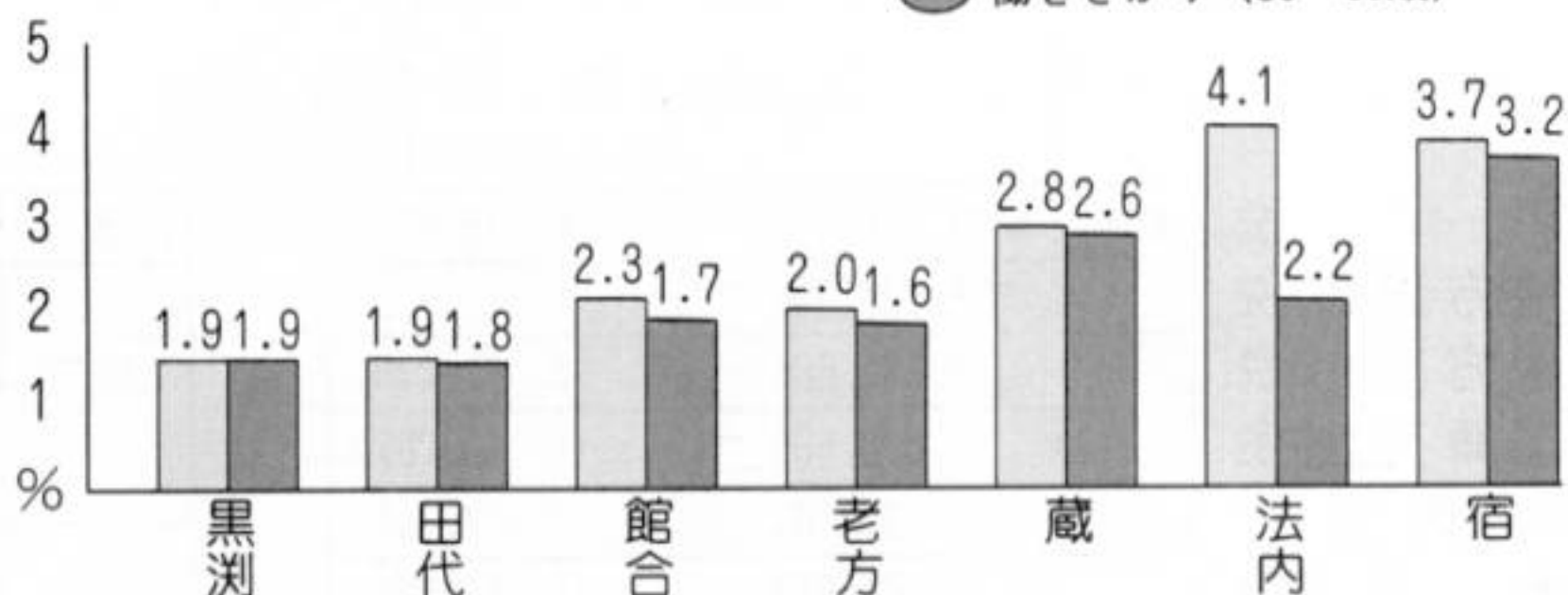
1人当り診療費の推移

(国民健康保険)

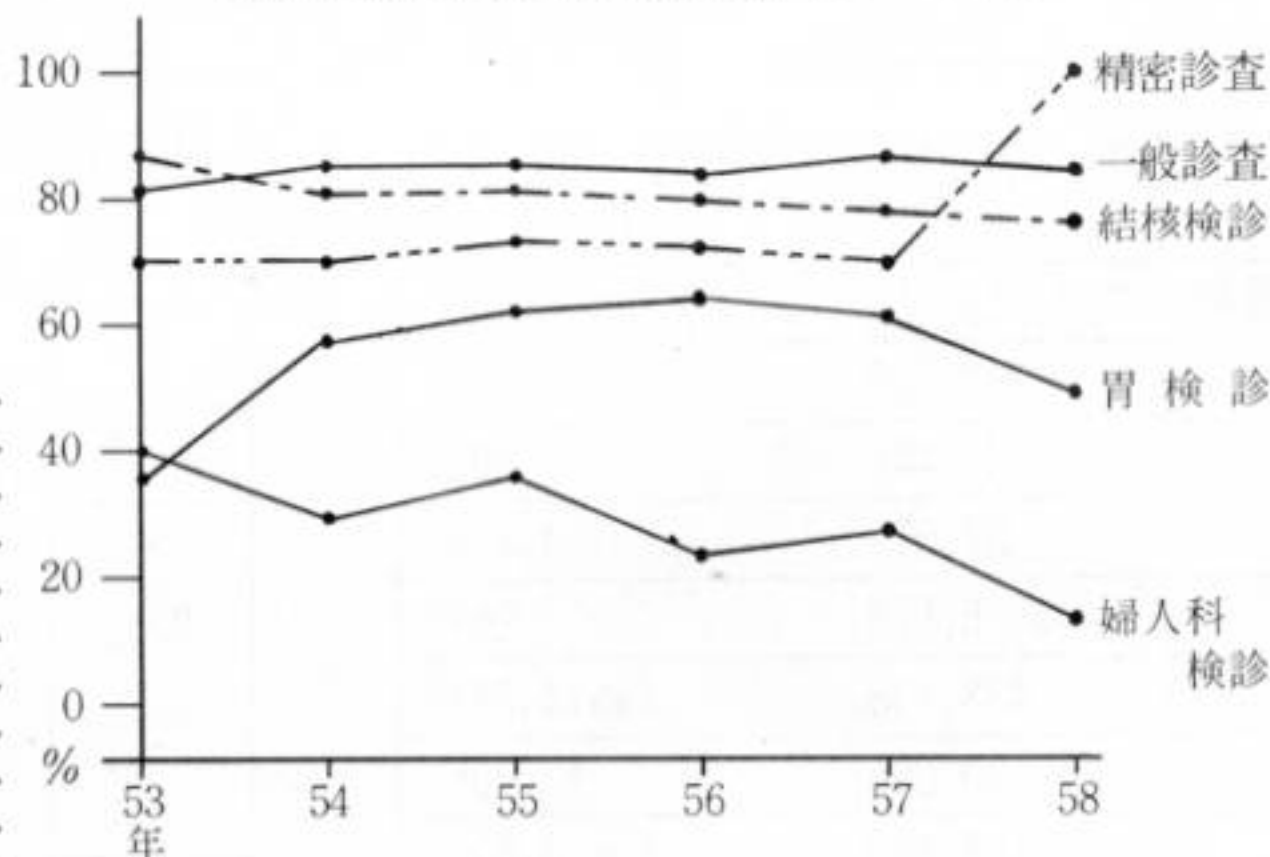
年度	受診件数	1人当り費用額
	件	円
53	29,534	83,244
54	29,576	88,498
55	30,322	89,153
56	30,444	96,091
57	30,724 老保 481	92,280 22,318

ガン発症率 (53~57年)

○ 全体
● 働きざかり (30~69歳)

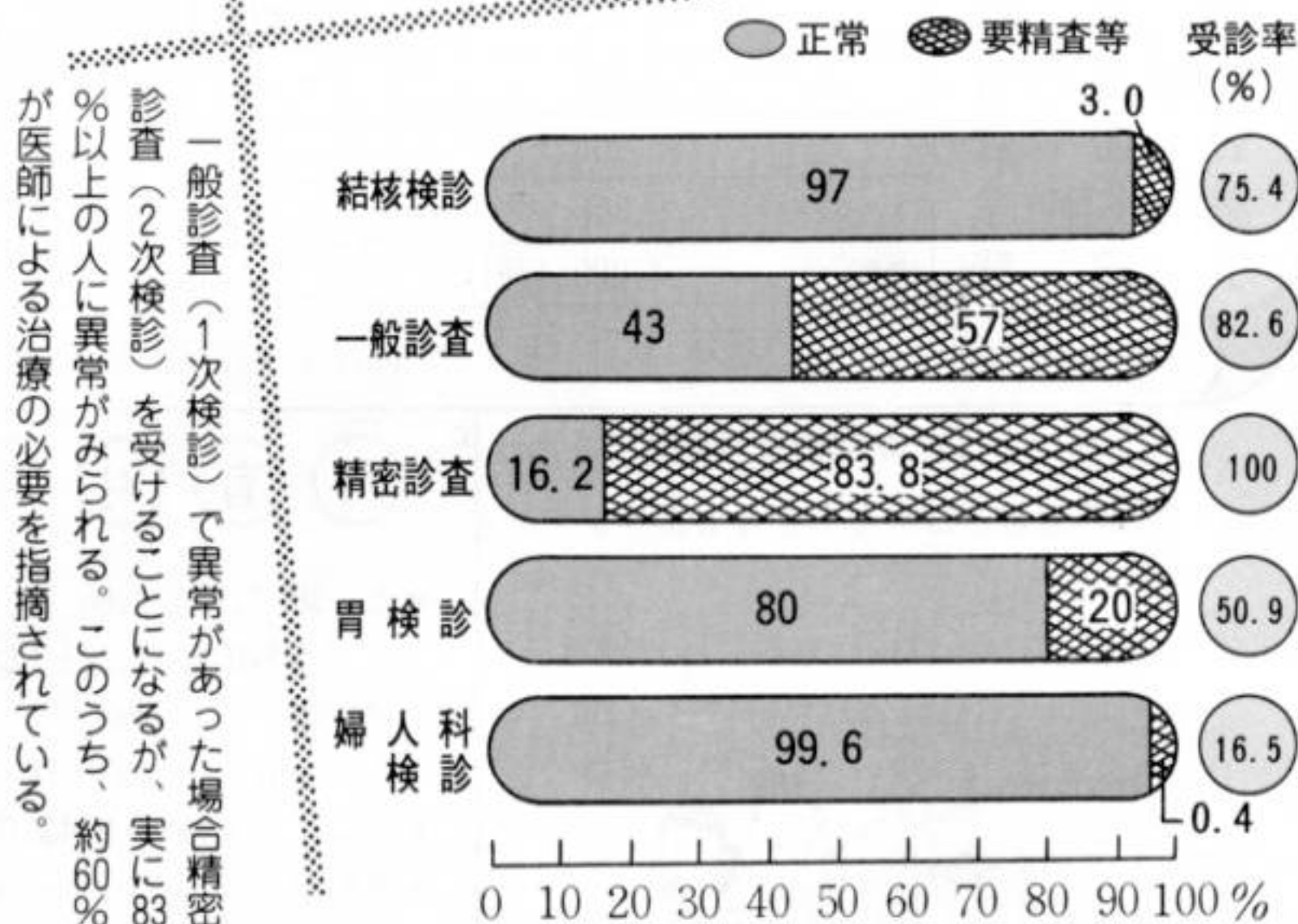


各種検診受診状況 (53~58年)



ガンの早期発見に欠くことのできない胃検診や婦人科検診は、まだまだ受診率が低い。ガンが増加している現状の中で、最低でも年1回のガン検診が必要とされている。

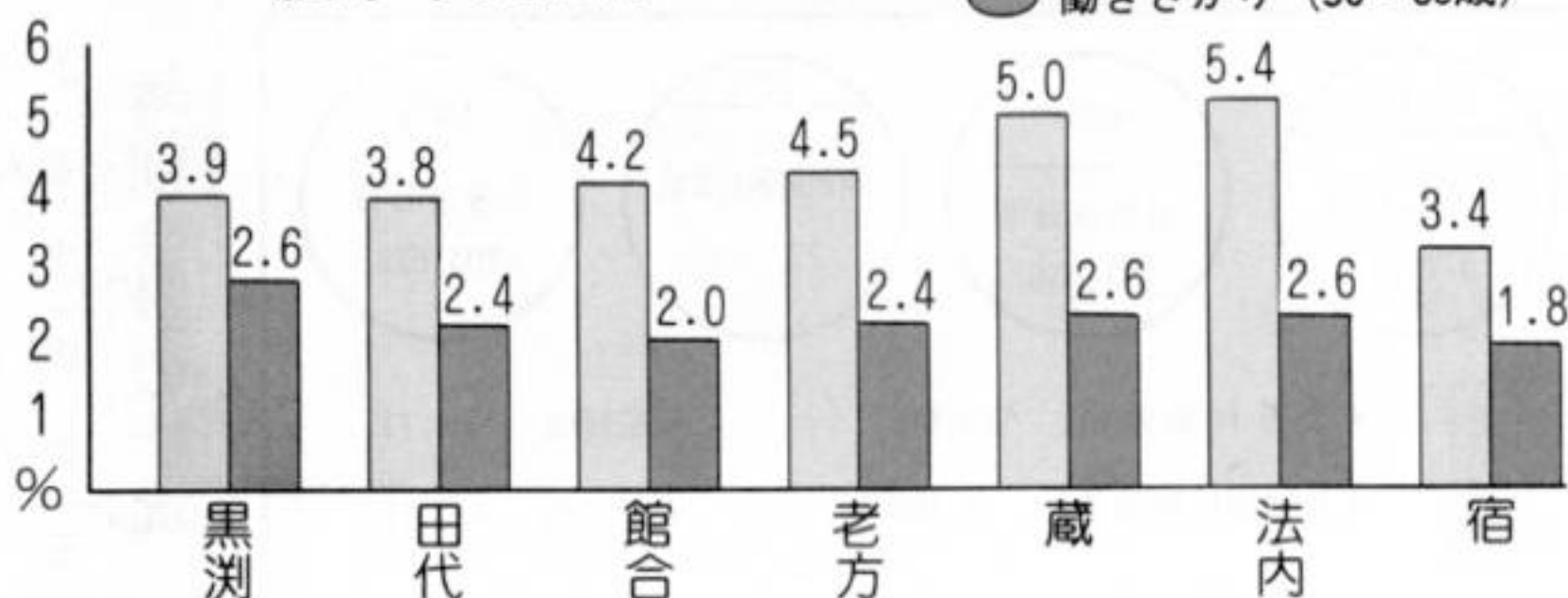
昭和58年度受診結果



一般診査(1次検診)で異常があった場合精密診査(2次検診)を受けることになるが、実に83%以上の人に異常がみられる。このうち、約60%が医師による治療の必要を指摘されている。

脳卒中発症率 (53~57年)

○ 全体
● 働きざかり (30~69歳)



一般会計最終予算額 2,327,587千円



〈歳入〉 収入済額 1,936,426千円 (83.2%)
(単位: 千円)

町税	最終予算額	178,276	(13,801)	8.7
地方譲与税	〃	25,396	(0)	
地方交付税	〃	960,686	(37,275)	41.3
国庫支出金	〃	323,535	(18,287)	
県支出金	〃	232,183	(△ 7,744)	
繰入金	〃	64,013	(△57,997)	24
繰越金	〃	82,989	(0)	6.2
町債	〃	336,100	(△ 7,000)	14.5
その他収入	〃	124,409	(3,221)	5.3

〈歳出〉 支出済額 1,929,674千円 (82.9%)
(単位: 千円)

議会費	最終予算額	52,151	(△ 949)	12.9
総務費	〃	247,268	(7,598)	
民生費	〃	142,449	(△ 7,103)	10.2
衛生費	〃	92,377	(△ 4,276)	
労働費	〃	5,023	(△ 267)	22.2
農林水産業費	〃	483,198	(△14,241)	
商工費	〃	30,003	(12,405)	8.4
土木費	〃	196,498	(△ 4,509)	4.3
消防費	〃	101,258	(2,731)	
教育費	〃	635,641	(△18,473)	27.3
災害復旧費	〃	38,362	(21,382)	
公債費	〃	290,209	(170)	1.6
諸支出金	〃	9,150	(5,375)	
予備費	(再掲) 〃	4,000 (791)	(0)	13.1

凡例 済 未 ※カッコ内は下半期補正額

⑤ 5月いっぱいが出納整理期間のため
今回の報告とは異なる場合もあります。



町有財産

- 土地 7,164,326㎡
(うち山林 1,293,682㎡)
- 建物 33,638㎡
- 有価証券 1,493千円
- 出資による権利 8,431千円
- 自動車・ブルドーザー等35台

まちの財政

下半期
財政報告

昭和58年度(10月～3月)



年々厳しさを増している国、地方の財政状況下で、町唯一の依存財源である地方交付税は、当初国の予算で対前年比4・9%の減(約5千万円)で、財源不足を補填するため、建設地方債の増額充当率の引上げが図られた一方、町民の行政需要の増加に際するため、建設事業の統合小学校建築、水道拡張事業等への財政調整基金からの繰入(1億2千2百万円)を計上し、経常経費の節減合理化により収支バランスを保持してきました。

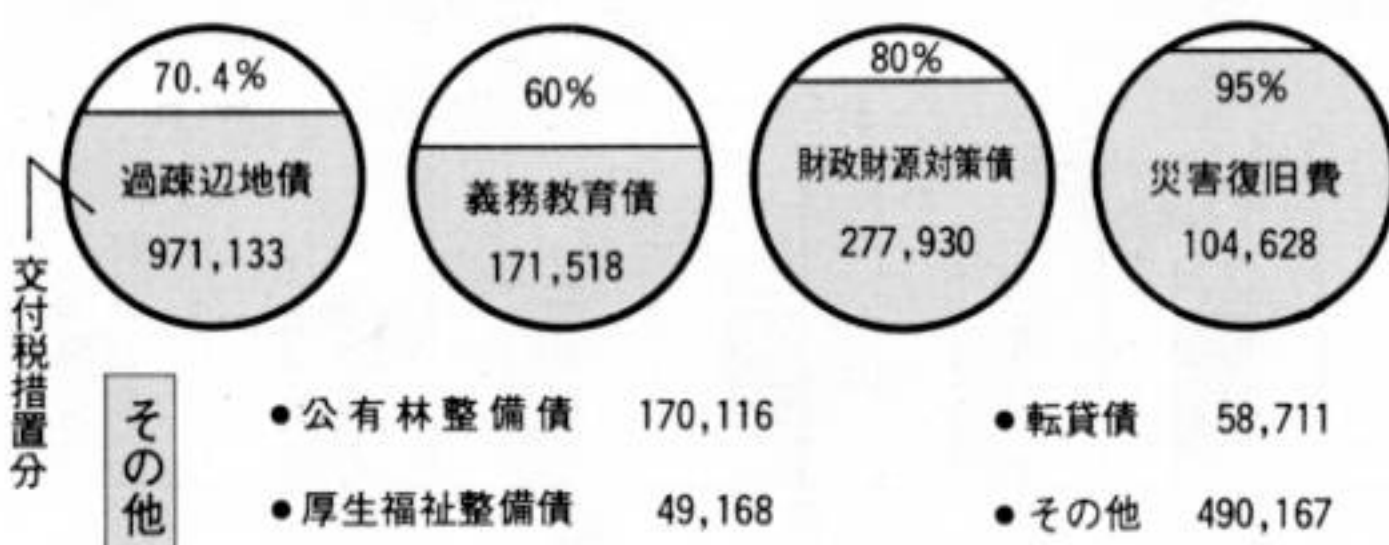
昭和58年度は、町民待望の企業誘致が決まり、用地取得や関連経費の補正がありますが、国庫の諸制度活用と効率的な財源配分に努めたことと豪雪対策経費への補填措置もあり、決算見込では、地方交付税が前年比1・8%減(1千7百万円)、地方譲与税・自動車取得税交付金が27%増(1千百万円)の伸びを得、当初財調繰り入れ額を5千7百万円減額し、59年度以降の財政需要に備えました。

基金 381,427千円

- 財政調整基金 219,614千円
- 国保財政調整基金 115,411千円
- 簡易水道財政調整基金 20,566千円
- 土地開発基金 20,000千円
- 高額療養費貸付金 2,000千円
- 中小企業振興基金 6,000千円
- 奨学資金貸付基金 1,010千円
- 国民年金印紙購入基金 400千円
- 高齢者等肉用牛飼育事業貸付購入基金 17,400千円

(単位: 千円)

公債費現在高 2,293,431千円

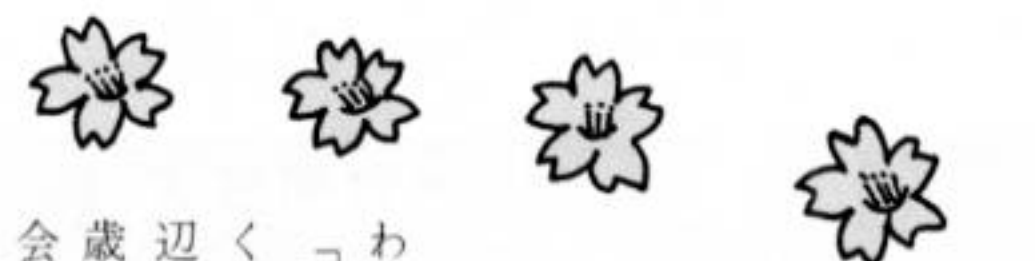


特別会計の状況

項 目	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	422,422	385,291	340,283
老人保健医療事業	222,439	192,544	181,813
黒 渕 診 療 所	2,191	3,483	1,894
簡 易 水 道 事 業	390,412	125,765	124,252
大平スキー場運営費	10,867	13,058	4,887
玉 米 財 産 区	900	2,602	560

国花「さくら」に貢献し

表彰 — 県内で個人は一人 —



「さくら」を長年にわたり愛護、保存し、「さくら」の振興につくしてきたとして、渡辺与七さん（田代・71歳）が「日本さくらの会」（会長福田一）から表彰を受けました。

渡辺さんは、八塩ダム周辺を町民いこいの場にと、町や住民に呼びかけ、昭和42年には自分からすすんで桜苗木を購入し、町に寄贈しました。

そして、植栽した桜の保育管理を長年つづけてきたことが、今回の栄誉となったもので、町でも渡辺さんの受彰に深く感謝しています。

この「さくら功労者」の表彰は、全国で団体が25、個人が14の受彰のうち、県内では渡辺さん一人だけ。団体では阿仁町内と羽後町内にある2つの団体が表彰を受けました。

表彰式は4月7日、東京都内にある「憲政記念館」を会場に、第19回さくら祭り中央大会の席上で行われ、中曽根総理大臣や、木村参議院議長らも列席し、お祝いの

ことばをのべられました。

このほか、会場には西ドイツ・ハンブルクのさくらの女王、日本さくらの女王、八幡平さくらの女王等、さくら美人が勢ぞろいし、会場はまさに「さくら」が満開とあったところでした。

喜びでいっぱい渡辺さんは、「さくらは日本の国を表す代表的

な花で、わたしたち日本人は古くからその美しさにひかれ、愛し、ともに生きてきた。いまさくらは、国土の開発や公害のほか、現代人のさくらに対する保存育成の心がうすれてきていることから、衰えてきている。

これから次代を担う若い人たちに、国花としてのさくらに誇りをもち、大切にしていってほしい」と話してくれました。

わが町にもいよいよ花見のシーズンが到来し、多勢の観桜客でにぎわうことですが、わたしたちの心をなごませてくれるさくらが、いつまでも美しくあるよう大事にしていきたいものです。



「憲政記念館」で受彰を喜ぶ渡辺さん。右は西ドイツハンブルクさくら女王

修学旅行費は 自分たちの手で！

— 東中で空ビン回収 —



中学3年になると、学校生活の大きな楽しみの中に修学旅行があります。

旅行は楽しく、勉強や思い出にもなりますが、その経費の負担もたいへんです。そこで東由利中学校では一人当たり5万5千円にもなる旅行費用の父兄負担を少しでも軽くし、また働いてお金をつくることの大切さを経験させようと、新しい学年早々の4月2日に空ビンの回収を行いました。

この日は天気もよく、町内4地区に分れた生徒たちは、あたたかい午後の日差しを浴びながら一斉に回収開始。

一輪車や、自転車で各家々を巡り歩くと、中には箱ごと出してく

れた人や、わざわざ一輪車まで運んでくれた人もいて、その良心的な行為に感心させられる一コマもありました。

こうして予想以上の収穫に生徒たちは喜び、回収が終わったあつたお金に換えてみると、各地区あわせて6万4千2百97円と、当初の予定を大幅に上回る額となりました。

自分たちの手でつくったお金で修学旅行をすることが楽しく、良い思い出になることをみんなでお祈りしたいと思います。





「新しい友だちと仲良く頑張ります」と誓う千葉寛康くん



校歌は畑山昭一校長(島)が作詞した

4月4日、高瀬小学校の開校式が行われた。近代建築の枠を徹して造られたわが町の統合最後の校舎。教育委員長のあいさつにもあった「りっぱな校舎にふさわしい、りっぱな人間になってもらいたい」のとおり、りっぱな町民になるための勉強を期待したい。

元気ですか
保健婦です

例年になく厳しい冬を過ごした町の野や山々にもようやく、春の息吹が萌え始めました。出稼ぎから帰ったお父さん方は、「雪が多い多いと聞いてたが帰ってみてこんなに多いとは思わなかった」。と口をそろえて言っておりました。帰ったとたんに、農作業の遅れを取りもどすための無理な労働が、疲労や過労に結びつくのではと懸念されますが、いかがでしょうか？

最近よく「高齢化社会の到来」という言葉を耳にしますが、日本は世界に類のないスピードで高齢化社会に向かっており、中でも秋田県では65才以上の人口が10.5%と全国平均より高く、わが町では県平均より上まわり13.2%となっています。

人のしあわせは、健康だけがすべてではありませんが、健康を失うとすべてを失います。

元気で長生きするために、日々、生活の中で工夫しておられる方のお話によりますと、

「長寿号」で 「健康駅」へ行きましょう

(1)、そろそろ60代に近くなると、まさに、ある先生のお話にありました「女、二人道を行く、一人は若き、いま一人は老いてなお美しき」のごとく理想的な家庭の姿と感心いたしました。みな様はいかがでしょう？ (町保健婦・伊東志津子)

病気にかからないようにと気を配っているお母さんと、少し身体の機械が故障したがサビないように手入れをしているお祖母ちゃん、の女同志の、お互いに支えあって生きていく姿が、温かく伝わって来ました。二人でほがらかに笑い合っているのが近所の人達が訪れても「この家は明るい」と言われるそうです。

脳卒中、がんなどの病気にかかりやすい年齢だから、自分の身体と相談しながら働くようにしていること。

(2)、なんといつても身体第一だから、栄養を考えて食事に気を配っていること。

(3)、同じ家庭で脳卒中を患いちゃうと2年目になるお祖母ちゃんからは、退院直後は家のまわりや近くの神社までの行動範囲であったが、今は好きな歌をとおして、地区の老人クラブをはじめ、連合のクラブにも参加し、同年輩の人々と交流をはかり、刺激を求めていること。

(4)、一日一回は、お腹の底から声を出して歌の練習に励んでいること。

(5)、朝、目覚めた時、今日一日無事であることを感謝していること等をうかがいました。

豪雪山村 小国町に 学ぶ

山形県と新潟県との県境に飯豊連峯があり、その山麓一帯を領域とする豪雪地帯に、山村小国町がある。

この町は、山村振興の模範の町とされ、地域農村振興の優秀さがある。

小国町の東部地区に叶水地区という拠点集落があり、ここが受賞の対象地域である。

そこを訪ねてみた。受賞に輝いたこの地域は、山間僻地に点在する数個の部落でなりたっている集

落である。

純農村地帯で、平均耕作反別一町歩であるのに、出稼者は殆んどいないという。若者達が次第に町に定住して、年々人口が増加しているという。一世帯平均の就労人員三人、それで出稼がない生活がどうして出来るのか！拠点集落の責任者にたずねてみた。その答えは、どこの農家でも一人は会社に通っているという。

この町には東芝セラミックスと、日本重化学工業という二つの会社がある。

つまり出稼にいかなくとも、農業と町にある会社通いで、生活

がなり立っているということである。

先祖伝来の田畑を失わずに、立派に耕作しながら、家族の誰かが会社勤めをして、会社からの収入を得て生活をし、そしてその地方の文化を守りながら、明るい町づくりが進められている。

町では一方、積極的に農用地の流動化をはかり、後継者の育成に力を注ぎ、定着した若い後継者は、稲作に肉用牛づくりを組み合わせたなど、経営の複合化にとり組んでいる。

毎年秋になると、若者達が中心となり手づくりの「ふるさとまつり」を行ない、伸びゆく町の将来

に夢を託すという。

昨年の秋祭りに、この町の若者たちは、ヘリコプターをチャーターして、空からふるさとを眺めながら未来の町づくりに更に意欲を燃やしたという。

小国町は、三月末というのにまだ三米を越す雪壁で家が埋もれていた。それなのに、町の若者たちは豪雪をもとめせず、町づくりに取り組んでいるのである。

この町は豪雪とかかわりなくすに、春、雪の下、路のとうのようになり、じつとこらえて、いまに燃えたとうとする強い息吹きを感じるものがあつた。



町長の談話室

島山亮二郎



開校までのあゆみを想い、子どものりっぱな成長を願う父兄と先生



テレフォンサービス

“声の役場だより”を
試行

町政情報 69-2211番で

オフィスに休眠状態となる大平スキー場テレフォンサービス電話の効率的活用のため、5月15日から3カ月間“声の役場だより”として試行します。

当面、町行事や町長の動静、道路や水道の工事の状況、保健衛生事業や家畜市場の状況などのほか、いこいの森の開花状況などホットな情報も盛り込みながら2分30秒以内にバックします。

原則的に情報は毎日入れ替えます。試行に対する町民皆様のご意見もお寄せください。

民話・その1

お諏訪さまの大銀杏



岩館部落の諏訪神社の裏に乳房の銀杏と呼ばれ、太さでは日本一と言われる巨木がそびえています。むかしむかし、この岩館の殿様、小笠原蔵人夫婦には子宝が恵まれず、奥方は何んとかして世嗣ぎがほしいものと、館の守り神でもあり、里の鎮守様でもある諏訪神社に願いをかけました。

ある日のこと、諏訪神社に参詣に来ますと、大銀杏の根元で、貧しい姿の女の子が銀杏の実を拾っていました。心やさしい奥方は、女の子の姿をあわれみ、やさしい声をかけ、色々と尋ねてみても、「何も知らない…」と答え、しまいには泣くばかりです。可愛想にと、奥方は館に連れて帰りました。そのうちに誰かが迎えに来るだろうと思っていました。が、迎えに来る様子もありません。奥方はその子に、「静江」という名前をつけて、「静江、静江」と自分の子供のように目をかけて可愛がりました。

すくすくと成長した静江は美しくなり、そして何んでもよく気がつくので、殿様も奥方も大よろこびです。館は世嗣ぎがなく暗くなりがちでしたが、静

江のおかげで明るくなりました。こうした中で、奥方の子宝を願う真心がかない、玉のような男の子が産まれました。しかし、乳が一滴も出ないのでみんな心配しました。奥方は産床から、「どうかお諏訪さまお乳を授けてください」と心の中で祈願するのでした。

ある晩のこと、すやすや眠っている奥方の枕元に一人の美しい女が座っています。奥方は、ハッと気づいて、「あなたはどなた…」と尋ねました。「奥方様、私は毎日奥方様や、お殿様のお世話になってます静江です。お礼にお乳を差上げます。これを煎じて飲んでください」と言うなり姿がかき消えてしまいました。不思議なこともあるものと、奥方は自分の手のひらにのっている木片を早速煎じて飲んでみると、お乳は湧き出るようになってきました。そのとき、「大変だあ…静江が銀杏の根元で倒れているぞ…」と大声がするので、奥方もいそいで駆けつけました。静江は奥方の顔を見ると、苦しい息の中で、「奥方様、お乳が出たでしょうか。私はお諏訪さまの銀杏の精です。大変お世話になりました。」と言って息を絶えました。

殿様も奥方も静江の心をあわれみ、ねんごろに葬ってあげようと、黄色に色づいた銀杏を見上げた時でした。ザワザワ…と大銀杏をゆすぶるような風が吹いたと思ったら、銀杏の葉が吹雪のように舞い、静江のなきがらを包みかくすようにバラバラ散ります。ようやく風のおさまった頃、館中の侍は静江のなきがらを探したが見あたらなかったとのこと。お諏訪さまの大銀杏は乳房の銀杏と呼ばれ、今も近郷近在の乳の出ないお嫁さんのお詣りはつづいているということです。

とっぴんからりんの山椒の実

今号から「ふるさとに伝わるむかしばなし」を連載します。
お話しは、石渡力造さん（蔵新田）によるものです。

社会教育指導員に 畠山氏選任

任期満了に伴う町社会教育指導員に、新しく畠山卓三氏（袖山・49歳）が選任されました。

畠山氏は、明治大学（文学部 仏文科）を卒業後、東京都内の出版社や大手私鉄会社で活躍をされていましたが、このたび都合により退社、帰郷していただくことになったものです。氏には主に家庭教育や婦人教育を指導していたことにより、選任されることになったものです。氏にはこれまでの豊富な経験を生かした社会教育全般にわたる幅広い活躍が期待されています。



畠山卓三氏

公民館運営審議会 委員の顔ぶれ

町公民館運営審議会は、公民館活動のあり方について研究、討議する機関で、学校長3人、地域や団体の代表8人、学識経験者3人の計14人の委員で構成されています。

今年度は同委員に次の方々が選ばれました。（任期は2年）
▼渡辺昭次（大琴小）▼塚本

町民のアイデア お待ちします

町民の声を町政に、町では町長の面会日を設定し、町民と行政が一体となった町づくりをすすめております。

しかし仕事で忙しく役場にこられない方や、口で話しをするのがおっくうだという方も多いのではないかと思います。

そこで、次号から広報に町民のコーナーを設け「豊かな町づくり」のために日頃考えていることなどをお寄せいただき、紹介することにしてあります。町民のみなさんの奇抜なアイデア、ユニークなアイデア等をお待ちしております。

「ふるさと」に「一報」 ください

町では、町出身者で町外在住の希望者に対し、無料で広報をお届けしており、その数は現在、4百人にのぼっております。

毎月送られる広報をみて、ふるさとに懐かしい思いを寄せられている方もおられることと思いますが、近況等をお知らせくだされば、広報紙面の都合をみて、ご紹介させていただきますので、一報くださるようお願いいたします。

▼連絡先 東由利町役場総務課・広報係 (☎0184-69-2110代)

春の 5月13日～19日 「行政相談」週間



役所が行う仕事について、納得できない、処理がまちがっている、遅い、不親切な扱いを受けて、などというようなことはありませんか。

このような住民の皆さんの行政に対する苦情や要望などを聞いて、一つひとつ問題の解決を図るとともに、それらを行政運営の改善に反映させる——これが行政管理庁の行政相談です。

行政相談

第三者的立場で 苦情を解決

行政相談制度が始まったのは昭和三十年。以来、約三十年の間に国民の行政への関心の高まりや行政の複雑化を背景に、相談件数は飛躍的に伸び、現在では全国で年間約二十万件にのぼっています。相談件数が多いのは、道路関係、年金関係、国税関係、登記関係、生活保護関係の問題などです。

それでは、実際にはどのような相談が持ち込まれ、どのように解決されているのか、一つの例を見

が多発しているのが、ガードレールを設置するよう国道工事事務所に申し出ているが、いつまでたっても改善されない。

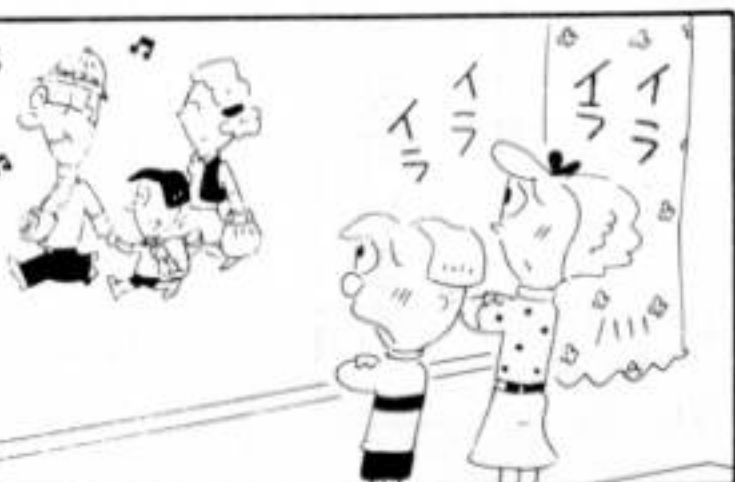
【解決】苦情を聞いた行政相談委員は、現地を確認の上行政監察局に連絡。局が県警本部から参考意見を聞いた上で国道工事事務所に検討を要請した結果、ガードレールが設置された。

この事例でもお分かりのように、行政管理庁は第三者的立場から公正な判断を行い、苦情の解決に取り組んでいます。また、相談の対象が行政全般に及んでいるので、多数の機関が関係してどこに申し出てよいか分からな

いときなどにお申し出ください。相談は無料で、口頭のほか手紙や電話でも受け付けています。秘密は厳守。

【相談内容】国道の急カーブの地点で自動車路外に飛び出す事故

さわやか 君



「東由利町報」が 「広報いかしゆり」に 変わりました!!

「東由利町報」として親しまれてきた広報を、いままで以上に親しまれ、「よみやすく」、「みやすく」、「わかりやすい」広報にと、このたび町民を含めた広報委員会を発足、第1回目の委員会で話し合いのうえ題字については「広報いかしゆり」と改めさせていただきました。

今後も、町民に親しまれるよう努力してまいりますので、ご意見や、ご要望がありましたら、係までご連絡くださるようお願いいたします。

国の行事

- 1日～7日・憲法週間
- 3日・憲法記念日
- 5日～11日・児童福祉週間
- 10日～16日・愛鳥週間
- 13日～19日・行政相談強調週間
- 21日～31日・家内労働週間
- 30日・消費者の日

異動

■下郷分校

- 転入 佐藤博英・見上 満

■駐在所

- 転出 保泉正悦
- 転入 加藤 孝 (敬称略)

ワカ(八塩小) ▼畠山悟(東由利中) ▼鈴木和雄(連合青年会) ▼小松ミキ(連合婦人会) ▼梅津ミチ(農協婦人会) ▼佐藤智治郎(連合PTA) ▼長谷山直助(老人クラブ連合会) ▼石川善一郎(下郷分校) ▼小松正之助(東由利農協) ▼小番銚平(商工会) ▼小松与惣雄(松柴) ▼遠藤莊二郎(小倉) ▼梅津嘉一郎(大琴) (敬称略)

町民の声を町政に！

町長の面会日今月は21日

今月の本だな

秋田の民芸▶知育ずかんなぜなぜ・第1～10巻▶歴史の群像3▶熱い風▶風祭▶成功への意識革命▶愛見つけた▶日本食シリーズ・みそ・なっとう・そば・とうふ▶シルクロード・ローマへの道▶至二の世界▶昭和史事典▶日本のお米▶花の歳時記・1～10巻

公民館の図書室には約 5,000 冊の図書が準備されています。日曜や祭日でも貸し出しを行っていますので気軽にお出かけください。

稲作講習会
とき 5月12日(土)
午後1時から4時
ところ 有隣館
内容 異常気象下における稲づくり
講師 県立農業短期大学教授山口邦夫氏
主催 東由利町農業総合指導センター

地方税制が改正されました
このたび、次のように地方税制

愛鳥週間 5/16

期日	5月21日
大琴診療所	10:20～11:10
大蔵館	12:10～12:50
玉支所	13:00～13:30
役場	13:40～14:40
下郷分校	15:00～16:00

献血車が来町します

今月の行事

7日・老人クラブ総会
8日・ことぶき大学開校式
10日・乳児健康相談
12日・妊娠届出日・同健康相談
16日・乳幼児ツ反
28日・リハビリ学級
30日・三混予防接種



4月は次の方々から施設等に寄付がありました。

■大琴・石綿フミさんより病氣見舞のお返しとして金一封▷町社会福祉協議会■下小路・佐藤貞さんより雑きん35枚▷みどり保育園■矢島信用金庫東由利支店より交通安全腕章▷みどり保育園、永慶保育園

山火事を未然に防ぎましょう

が改正になりましたのでお知らせします。
①法人の県民税の均等割についてその税率が従前の2・5倍に引き上げられました。
また、法人の県民税及び事業税について、徴収猶予制度が廃止になりました。
②自動車税の税率(年額)が自家用車でおおむね15%、営業用でおおむね5%引き上げられました。
詳しくは由利県税事務所へお尋ねください。

行楽シーズンを迎え、これからは林野火災の発生しやすい時期となります。
山火事の発生原因のほとんどは、タバコの吸いながら、ゴミ焼きなどの不始末です。で細心の注意を払ってください。
山林は貴重な共有財産です。町民総意をあげて山火事を防ぎましょう。

労働保険料申告書を提出しましたか？

労働保険料(労災・雇用)申告書は5月15日までに銀行、郵便局又は本荘労働基準監督署に提出することになっておりますがもうお済みですか。申告書は記入要領をよく読んで正確に記入してください。不明の点は本荘労働基準監督署(22-4124)へお尋ねください。

戸籍の窓口

(お)届出・敬称略

うぶ声



佐藤 望美(お)一・長女(田代)
佐藤 泰之(お)知泰・長男(宇戸坂)
阿曾 晃(お)寛二・長男(宇戸坂)
工藤 美保子(お)保・長女(新処)
大庭 久江(お)紀行・長女(舟木)
阿部 仁(お)弥松・二男(小倉)
伊東 主税(お)好市・長男(岩澤)
佐藤 深雪(お)民雄・長女(岩澤)

小笠原フミノ(72 克志・母)大琴
畠山 久七(63 キクエ・夫)茂沢
佐藤 カツ(84 知泰・祖母)宇戸坂
鈴木 茂(53 和夫・父)沼

おくやみ



結婚



佐藤 秀夫 新町
遠藤 妙子 蔵新田
木島 順蔵 宮ノ前
太田 はつ子 蔵

町の統計 3月

人口 () 内は前月と比較	() 内は1月からの累計
・男 3,048人 (△23)	●出生 9人 (22)
・女 3,126人 (△36)	●死亡 7人 (16)
・計 6,174人 (△59)	●結婚 0組 (0)
●世帯数 1,420世帯 (△8)	●離婚 1組 (1)
●ゴミ処理量 27 t (82)	
●火災 0件 (0)	
●救急車出動回数 4件 (30)	
●交通事故 3件 (4)	
●交通死亡事故「0」継続日数 1,385日	
●有隣館利用者数 1,281人 (3,012)	
●朋楽荘利用者数 500人 (976)	

テレフォンサービスで、ホットな情報を！ 5/15より ☎(69)2211